



2021年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年4月2日

上場会社名 (株) クラウディアホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3607 URL <https://www.kuraudia.holdings/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 倉 正治
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 安田 佳悟 TEL 075-315-2345
 四半期報告書提出予定日 2021年4月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期第2四半期の連結業績（2020年9月1日～2021年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第2四半期	3,048	△51.0	△1,178	—	△302	—	△559	—
2020年8月期第2四半期	6,225	0.3	224	△44.0	271	△40.4	157	△55.3

(注) 包括利益 2021年8月期第2四半期 △566百万円（—%） 2020年8月期第2四半期 161百万円（△53.8%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第2四半期	△63.67	—
2020年8月期第2四半期	18.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年8月期第2四半期	14,420	2,603	18.1	295.55
2020年8月期	14,610	3,155	21.6	360.13

(参考) 自己資本 2021年8月期第2四半期 2,603百万円 2020年8月期 3,155百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期	—	8.00	—	0.00	8.00
2021年8月期	—	0.00	—	—	—
2021年8月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2. 2021年8月期の期末配当予想につきましては、現時点では「未定」とさせていただきます。

※配当予想の修正については、2021年4月2日に公表いたしました「剰余金の配当（中間配当無配）に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年8月期の連結業績予想（2020年9月1日～2021年8月31日）

2021年8月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を予測することが困難なことから、現時点では「未定」とさせていただきます。今後、合理的な見積もりが可能となった時点で速やかにお知らせいたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年8月期2Q	9,689,200株	2020年8月期	9,689,200株
② 期末自己株式数	2021年8月期2Q	880,563株	2020年8月期	928,063株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年8月期2Q	8,781,494株	2020年8月期2Q	8,734,011株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料については、2021年4月2日に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

新型コロナウイルス感染症に係る2020年4月から5月の緊急事態宣言の解除後、当企業グループの受注状況、施行状況は、徐々に回復傾向にはあるものの、当第2四半期連結累計期間においては2021年1月に2回目の緊急事態宣言が発令される等、新型コロナウイルス感染症の拡大は収束しておらず、当企業グループを取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。

このような環境のもと、当企業グループはお客様と従業員の安全を第一に感染防止対策に取り組みつつ、引き続き婚礼衣裳メーカーとして“ものづくり”をコアとし、より最終消費者に近く、より大きなマーケットである挙式関連サービス事業領域（B to C）の開拓を推進し、当企業グループの市場拡大に向け注力しております。

当第2四半期連結累計期間に行った主な事業展開としましては、株式会社クラウドディアコスチュームサービスにおいて、2021年2月に帝国ホテル大阪（大阪市北区）内の美容室「クチュールクレオ 帝国ホテル大阪店」を新規オープンいたしました。

当企業グループは単一セグメントであるためセグメント別の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間における事業部門別売上高の状況は、次のとおりであります。

（単位：百万円）

	前第2四半期 連結累計期間 （自 2019年9月1日 至 2020年2月29日）	当第2四半期 連結累計期間 （自 2020年9月1日 至 2021年2月29日）	増減	増減率 （%）
ホールセール事業部門 売上高	1,410	761	△648	△46.0
製・商品売上高	672	337	△335	△49.9
レンタル収入等	737	424	△313	△42.5
コンシューマー事業部門 売上高	4,815	2,287	△2,528	△52.5
衣裳取扱収入	1,851	870	△980	△53.0
リゾート挙式売上高	990	205	△785	△79.3
式場運営収入	1,115	709	△406	△36.4
写真・映像・美容売上高	858	502	△355	△41.5
連結売上高	6,225	3,048	△3,177	△51.0

※上記の売上高の数値につきましては、事業部門内及び事業部門間の取引消去後となっております。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響により受注獲得が難航したことや、挙式・披露宴の日程延期やキャンセルが発生したこと等により、3,048百万円（前年同期比51.0%減）と、前年同期に比べて大幅な減収となりました。

利益面につきましては、広告宣伝費や人件費を中心に販売費及び一般管理費の削減に努めましたが、減収に伴う売上総利益の減少分を吸収するには至らず、営業損失は1,178百万円（前年同期は224百万円の利益）となりました。

経常損失は、雇用調整助成金等による助成金収入798百万円を営業外収益に計上したこと等により、302百万円（前年同期は271百万円の利益）となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は、法人税等調整額234百万円を計上したこと等により559百万円（前年同期は157百万円の利益）となりました。

なお、法人税等調整額の計上につきましては、連結子会社の繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、当該連結子会社の繰延税金資産を取り崩したこと等によるものであります。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ247百万円増加し、5,845百万円となりました。これは主に、現金及び預金765百万円の増加によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ437百万円減少し、8,575百万円となりました。これは主に、繰延税金資産199百万円、建物及び構築物115百万円の減少によるものであります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ189百万円減少し、14,420百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ191百万円増加し、8,209百万円となりました。これは主に、短期借入金400百万円の増加によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ170百万円増加し、3,607百万円となりました。これは主に、長期借入金133百万円の増加によるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ361百万円増加し、11,817百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ551百万円減少し、2,603百万円となりました。これは主に、利益剰余金559百万円の減少によるものであります。この結果、自己資本比率は18.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローが307百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが21百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが483百万円の収入となり、この結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）四半期末残高は、4,761百万円（前年同四半期は1,286百万円）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は307百万円（前年同四半期は45百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失313百万円、仕入債務の減少65百万円の支出があった一方で、減価償却費167百万円、売上債権の減少103百万円、未払消費税等の増加176百万円の収入によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は21百万円（前年同四半期は96百万円の使用）となりました。これは主に、建設協力金の回収による25百万円の収入があった一方で、有形固定資産の取得31百万円、無形固定資産の取得20百万円の支出があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により得られた資金は483百万円（前年同四半期は401百万円の収入）となりました。これは主に、短期・長期借入れによる1,000百万円の収入があった一方で、長期借入金の返済516百万円の支出によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年8月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を予測することが困難なことから、2020年10月2日発表の業績予想を変更せず、現時点では「未定」とさせていただきます。今後、合理的な見積もりが可能となった時点で速やかにお知らせいたします。

なお、当企業グループにおいては、事業の性質上、第1四半期（9月から11月）及び第3四半期（3月から5月）の婚礼シーズン時期に、売上高、利益が偏重する傾向があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,005,914	4,770,951
受取手形及び売掛金	524,369	413,680
商品及び製品	186,637	163,559
仕掛品	46,701	37,088
原材料	236,031	216,832
貯蔵品	91,089	74,447
その他	544,009	170,609
貸倒引当金	△37,447	△2,017
流動資産合計	5,597,305	5,845,151
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,369,125	6,339,095
減価償却累計額	△4,095,893	△4,181,016
建物及び構築物(純額)	2,273,232	2,158,078
機械装置及び運搬具	468,331	452,351
減価償却累計額	△414,234	△407,899
機械装置及び運搬具(純額)	54,097	44,451
工具、器具及び備品	957,712	945,868
減価償却累計額	△794,162	△808,231
工具、器具及び備品(純額)	163,550	137,637
レンタル衣裳	537,983	450,203
減価償却累計額	△274,536	△243,913
レンタル衣裳(純額)	263,447	206,289
土地	2,693,141	2,684,636
建設仮勘定	4,323	8,881
有形固定資産合計	5,451,792	5,239,975
無形固定資産		
ソフトウェア	36,948	44,900
借地権	11,965	11,310
その他	37,632	21,888
無形固定資産合計	86,546	78,099
投資その他の資産		
投資有価証券	15,884	18,015
保険積立金	338,822	347,333
差入保証金	2,606,849	2,585,094
繰延税金資産	308,914	109,510
その他	325,457	373,368
貸倒引当金	△120,741	△175,688
投資その他の資産合計	3,475,188	3,257,633
固定資産合計	9,013,527	8,575,707
資産合計	14,610,832	14,420,859

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	209,331	144,833
短期借入金	5,750,000	6,150,000
1年内返済予定の長期借入金	1,029,852	979,866
未払法人税等	19,241	17,843
賞与引当金	14,064	9,058
その他	995,778	908,185
流動負債合計	8,018,268	8,209,787
固定負債		
長期借入金	2,725,629	2,858,648
長期末払金	407,121	406,961
繰延税金負債	7,798	43,787
資産除去債務	266,231	267,627
その他	30,660	30,660
固定負債合計	3,437,440	3,607,684
負債合計	11,455,708	11,817,471
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,071,590	1,071,590
資本剰余金	1,218,107	1,203,507
利益剰余金	1,209,529	650,432
自己株式	△565,525	△536,581
株主資本合計	2,933,701	2,388,948
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△322	741
為替換算調整勘定	221,745	213,697
その他の包括利益累計額合計	221,423	214,439
純資産合計	3,155,124	2,603,387
負債純資産合計	14,610,832	14,420,859

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)
売上高	6,225,704	3,048,308
売上原価	1,414,369	751,442
売上総利益	4,811,335	2,296,865
販売費及び一般管理費	4,587,300	3,475,767
営業利益又は営業損失(△)	224,034	△1,178,902
営業外収益		
受取利息	4,833	5,132
受取配当金	264	34
受取賃貸料	3,953	3,415
受取手数料	6,560	1,758
受取保険金	5,783	521
為替差益	2,241	8,402
助成金収入	21,915	798,677
その他	16,231	80,119
営業外収益合計	61,782	898,061
営業外費用		
支払利息	7,487	20,784
支払補償費	6,127	—
その他	384	610
営業外費用合計	14,000	21,395
経常利益又は経常損失(△)	271,816	△302,235
特別利益		
固定資産売却益	454	—
投資有価証券売却益	—	0
保険解約返戻金	—	37
特別利益合計	454	37
特別損失		
固定資産除却損	1,109	0
減損損失	—	11,224
特別損失合計	1,109	11,224
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	271,161	△313,421
法人税、住民税及び事業税	62,529	10,750
法人税等調整額	51,460	234,926
法人税等合計	113,990	245,676
四半期純利益又は四半期純損失(△)	157,171	△559,097
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	157,171	△559,097

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	157,171	△559,097
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△867	1,064
為替換算調整勘定	5,479	△8,047
その他の包括利益合計	4,612	△6,983
四半期包括利益	161,783	△566,081
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	161,783	△566,081
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	271,161	△313,421
減価償却費	195,361	167,682
減損損失	-	11,224
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,259	19,516
賞与引当金の増減額(△は減少)	△30,059	△5,318
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△5,460	-
受取利息及び受取配当金	△5,097	△5,167
助成金収入	△21,915	△798,677
支払利息	7,487	20,784
固定資産売却損益(△は益)	△454	-
固定資産除却損	1,109	0
売上債権の増減額(△は増加)	△50,334	103,838
たな卸資産の増減額(△は増加)	△32,202	68,408
レンタル衣裳の増減額(△は増加)	7,267	54,956
差入保証金の増減額(△は増加)	△5,986	29,348
仕入債務の増減額(△は減少)	△64,535	△65,707
未払消費税等の増減額(△は減少)	12,429	176,983
その他	△94,603	△24,759
小計	185,427	△560,307
利息及び配当金の受取額	500	1,081
利息の支払額	△7,722	△21,188
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△154,185	89,113
助成金の受取額	21,915	798,677
営業活動によるキャッシュ・フロー	45,935	307,376
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△4,720	△4,572
定期預金の払戻による収入	-	4,572
投資有価証券の取得による支出	△10,779	△599
出資金の回収による収入	500	-
有形固定資産の取得による支出	△88,069	△31,180
有形固定資産の売却による収入	6,136	4,705
無形固定資産の取得による支出	△25,673	△20,622
貸付金の回収による収入	851	911
建設協力金の回収による収入	25,742	25,742
その他	-	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△96,012	△21,043
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,050,000	400,000
長期借入れによる収入	-	600,000
長期借入金の返済による支出	△546,876	△516,522
リース債務の返済による支出	△14,620	-
自己株式の取得による支出	△19	-
配当金の支払額	△87,359	△224
財務活動によるキャッシュ・フロー	401,124	483,253
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,875	△4,196
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	352,922	765,389
現金及び現金同等物の期首残高	933,622	3,996,510
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,286,545	4,761,900

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響)

当第2四半期連結累計期間において、前連結会計年度の決算短信の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りに用いる仮定の一部について変更を行っております。

前連結会計年度末においては、2021年8月期の一定期間にわたり新型コロナウイルス感染症の影響が継続すると仮定を置いておりましたが、その後の新型コロナウイルス感染症の感染状況及び経済環境への影響を踏まえ、2021年8月期末以降も一定期間にわたり当該影響が継続すると仮定を変更し、会計上の見積りを行っております。

この仮定のもと、連結子会社の繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、当該連結子会社の繰延税金資産を取り崩した事等により、法人税等調整額234百万円を計上いたしました。

(表示方法の変更)

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「税金等調整前四半期純利益」に含めて表示しておりました「助成金収入」は、金額的重要性が増したため、当第2四半期連結累計期間より独立掲記することといたしました。これに伴い、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「小計」欄以下において「助成金の受取額」を独立掲記することといたしました。この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組み替えを行っております。

この結果、前第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「小計」に表示しておりました207,342千円は、「助成金収入」△21,915千円、「助成金の受取額」21,915千円、「小計」185,427千円として組み替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当企業グループは単一セグメントであるためセグメント別の記載を省略しております。